

在宅看取りを支える 事業所の垣根を越えた連携の必要性

北見地域のがん患者さん支援の充実に向けたセミナー2023

オホーツク勤医協北見病院 院長
菊地 憲孝

当院は在宅療養支援病院です

- ✓ 地域包括ケア病床44床
- ✓ 入院、外来、訪問診療
- ✓ 医療と介護を一体提供



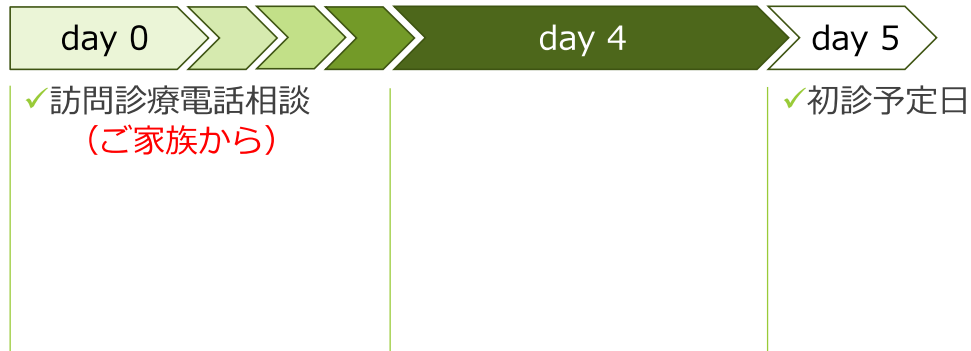
80代 Aさん 乳がん、多発全身転移

- ✓ 緩和治療方針
- ✓ 「病院には行きたくない」
- ✓ 「入院もしたくない」
- ✓ 同院では訪問診療をしていない

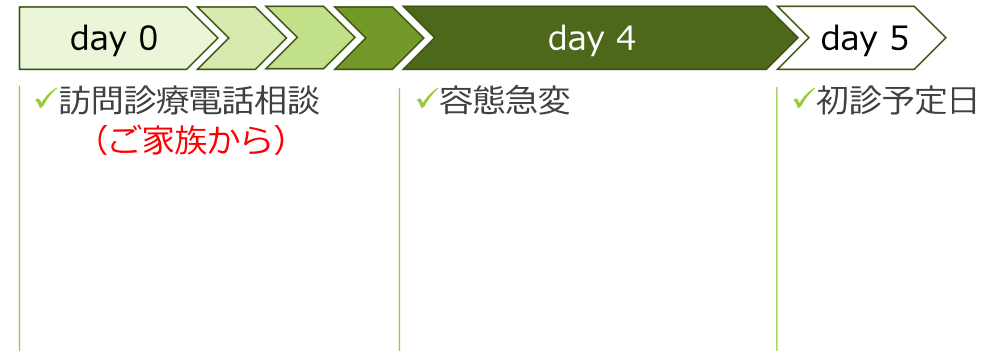
その後の流れ



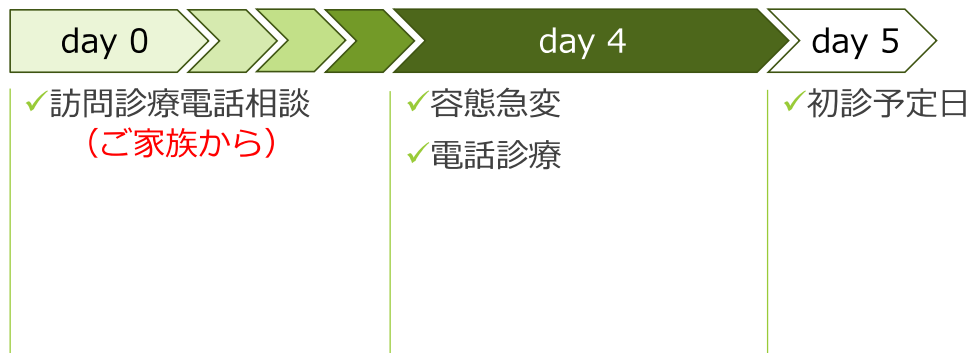
その後の流れ



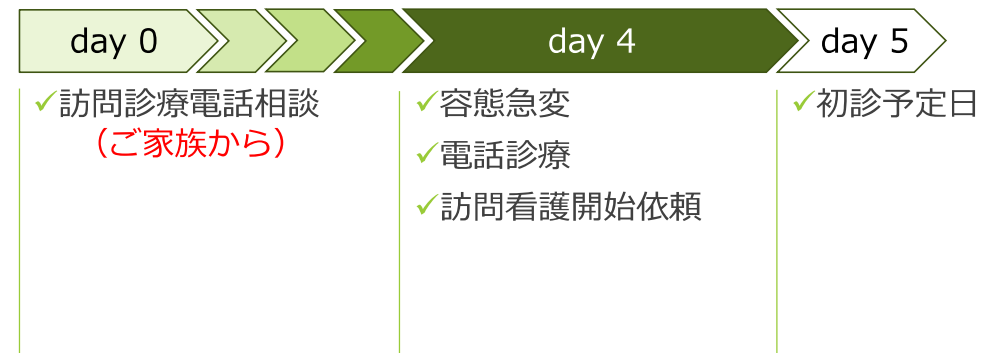
その後の流れ



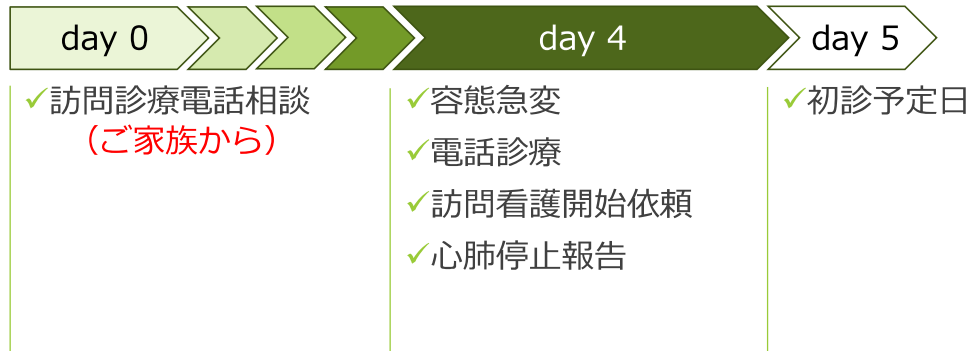
その後の流れ



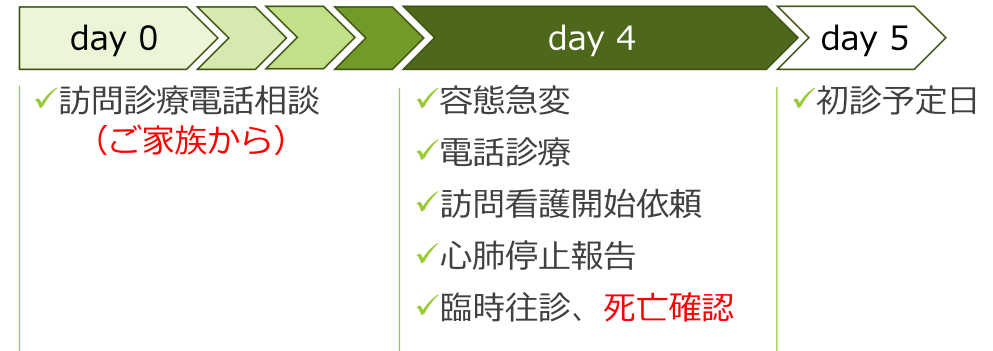
その後の流れ



その後の流れ



その後の流れ



「在宅看取り難民」が生まれている

- ✓ 訪問診療はどの医療機関で…？
- ✓ まずは、お互いの役割を知ることから
- ✓ “在宅看取り”事例共有（医療介護者、市民）
- ✓ 持続可能なシステムの構築
- ✓ “顔の見える連携”はとても大切
(時にシステムを超える力を発揮する)

みんなの力で

- ✓ 一事業所だけで在宅看取りは成し得ない
- ✓ 原動力は「患者さんのため」
- ✓ バトンをつなぐ（訪問診療のできる事業所へ）
- ✓ 心をつなぐ（患者さん、ご家族、仲間と）